

【ユニット】 キャリアデザイン

【ユニットディレクター】

UD：永島 雅文（解剖学）

UD 補佐：森 茂久（医学教育センター） 柴崎 智美（医学教育学） 米岡 裕美（教養教育）
黒崎 亮（国セ 婦人科腫瘍科） 平田 幸子（脳神経外科） 高橋 美穂（医学教育センター）

【一般的な目標】

学年に応じた経験から、医師としての将来設計に必要な知識を得て、医師としての将来設計図、またライフイベントを予測した自分の将来設計図を描くことができる。経験を振り返ることを通して、医師には学習を生涯継続し、知識と技能を維持し続ける責務があることを説明できる。★LL-01-02

【具体的な目標】

1. 先輩医師のキャリアについてのインタビューを小グループで計画・実践し、臨床医の医療に対する思いを知り、自らの将来像について考えることができる。
2. 勤務医、研究医、女性医師など医師の多様な将来像・ワークライフバランスについて説明できる。
3. 医学部の6年間の生活やその後の将来の医師像を踏まえ、1, 2年生合同ワークを通して、医学生として、医師として求められる行動について意見を述べるができる。
4. 自らの1年間の経験を振り返り、自らの成長と今後取り組むべき課題を言語化することができる。

【学習方法】

1 グループ6～7人に分かれ、大学病院の臨床各科に所属する医師にインタビューを行い、報告書を作成する。1年生、2年生合同で、1年生の報告会を開催し、自らのキャリアについて考え、そのために求められる医学生の姿について意見交換する。また、その際卒業生による3回の講義（先輩からの手紙）を参考にする。

1. 11月28日～12月19日の放課後の各グループ1日に、先輩医師にインタビューを行う。
2. グループでインタビューの内容を検討し、期間中に発表原稿をまとめるまでの役割分担、実施スケジュールを計画する。
3. グループでインタビュー内容をまとめ、報告書、発表用パワーポイントを作成する。
4. インタビュー内容について、2年生と合同の発表会で発表する。2年生、教員から質疑応答、フィードバックを受ける。
5. 1年生、2年生合同で、KJ法を用いて、課題（例：「医師として働く上で重要だと思ったこと」「医師としての仕事をやりがいを持って続けるために、学生時代をどのように過ごすか」）に取り組む。
6. この演習を振り返り、今後の医学生としての行動について考える。

【評価方法】

本ユニットは演習ユニットであり、75%以上の出席が必要である。また、チームで活動も多いため、積極的に参加することが求められる。出席、参加態度、ショートレポート、グループワークの成果を評価する。医師を目指す学生としてふさわしくない態度、行動が見られた場合には、評価の対象としない場合がある。

【教科書】

◆ 指定しない

【参考書】

◆ 指定しない

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
キャリア1	05月16日	(金)	3	先輩からの手紙-1 (臨床医になるということ)	永田 (呼吸器内科)
キャリア2	10月03日	(金)	3	先輩からの手紙-2 (救急を通して感じること)	高平 (救急科)
キャリア3	10月10日	(金)	3	先輩からの手紙-3	永島 (解剖学) 研修医 (研修医)
キャリア4	11月28日	(金)	4	キャリアデザイン演習オリエンテーション	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 高橋(美) (医学教育C)
キャリア5	11月28日	(金)	5	キャリアデザインインタビュー	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 高橋(美) (医学教育C)
キャリア6	12月22日	(月)	1~2	キャリアデザイン演習	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育) 高橋(美) (医学教育C)
キャリア7	12月23日	(火)	1	キャリアデザイン演習(1, 2年合同ワーク)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育) 高橋(美) (医学教育C) 黒崎 (国セ婦人科腫瘍科) 平田 (脳神経外科)
キャリア8	12月23日	(火)	2~3	キャリアデザイン演習(1, 2年合同ワーク)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育) 高橋(美) (医学教育C) 黒崎 (国セ婦人科腫瘍科) 平田 (脳神経外科)

【備考】

11月28日~12月19日の放課後に、先輩医師のインタビューが入るので、アルバイト、部活動等の用事を入れない様にする。部活動等よりもインタビューを優先すること。キャリアデザイン演習については、11月28日のオリエンテーションの中で期間中の詳細、事前学習、課題について説明する。

キーワード：キャリアデザイン、ワークライフバランス